



平成 18 年 8 月 3 日

各 位

本社所在地 広島県福山市南松永町四丁目 1 番 48 号
 会社名 株式会社 オービス
 代表者 代表取締役社長 御輿 岩男
 (コード番号: 7827)
 問合せ先 取締役管理部長 梅田 孝史
 電話番号 084-934-2621
 (URL) <http://www.orvis.co.jp>

平成 18 年 10 月期の業績見通しについて

平成 18 年 10 月期 (平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日) における当社の業績見通しは、次のとおりであります。

(連結)

(単位: 千円、%)

項目	平成 18 年 10 月期 (予想)			平成 17 年 10 月期 (実績)		〈参考〉 平成 18 年 4 月中間期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	9,520,101	100.0	100.1	9,507,106	100.0	4,806,885	100.0
営業利益	488,535	5.1	79.8	612,419	6.4	250,844	5.2
経常利益	411,864	4.3	73.8	558,114	5.9	235,666	4.9
当期純利益	219,556	2.3	62.2	352,846	3.7	128,093	2.7
1 株当たり当期純利益	126.76 円			794.70 円 (264.90 円)		96.17 円	

- (注) 1 平成 18 年 10 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数 (400,000 株) を含めた予定期末発行済株式数 1,732,000 株により算出しております。
 2 平成 18 年 3 月 1 日付で株式 1 株を 3 株に分割しております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の 1 株当たり数値を () 内に記載しております。

(個別)

(単位: 千円、%)

項目	平成 18 年 10 月期 (予想)			平成 17 年 10 月期 (実績)		〈参考〉 平成 18 年 4 月中間期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	8,656,291	100.0	101.2	8,557,810	100.0	4,458,901	100.0
営業利益	302,469	3.5	70.2	430,925	5.0	179,467	4.0
経常利益	348,290	4.0	66.3	525,249	6.1	257,038	5.8
当期純利益	190,485	2.2	65.2	292,347	3.4	147,276	3.3
1 株当たり当期純利益	109.98 円			658.44 円 (219.48 円)		110.57 円	
1 株当たり配当金	未定			60 円 (20 円)		—	

- (注) 1 平成 18 年 10 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数 (400,000 株) を含めた予定期末発行済株式数 1,732,000 株により算出しております。
 2 平成 18 年 3 月 1 日付で株式 1 株を 3 株に分割しております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の 1 株当たり数値を () 内に記載しております。

ご注意: この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書 (並びに訂正事項分) をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願い致します。

[平成18年10月期業績見通しの前提条件]

(売上高)

売上高は9,520百万円(前期比100.1%)を見込んでおります。

事業別の売上高は以下のとおりであります。

木材事業については、競合製品であるチリ材の供給過多による影響を加味し、販売数量は前期比98.8%(2,200 m³減)を見込んでおりますが、好調な輸出や設備投資に牽引されて受注、引合いが順調に推移するものと見込んでおります。

また、販売価格は原材料である原木代金および船舶燃料の決済を米国ドル建てで行っており、為替レートの円安による原材料コスト高の一部を製品に転嫁し、1 m³当たり前期比101.9%(460円/m³UP)を見込んでおります。その結果、事業全体では5,113百万円(前期比102.9%)を見込んでおります。

ハウス事業については、主要顧客である建設業界も最悪期を脱し、民間の設備投資は好調に推移するものと予想しております。官公庁の入札指名獲得のための営業強化ならびに民間の工場、倉庫等の重量鉄骨タイプの受注を増加させることで受注量を確保し3,287百万円(前期比100.0%)を見込んでおります。

アミューズメント事業については、改装店舗の増収効果と前期の閉鎖店舗(4店舗)の影響を加味し、1,018百万円(前期比97.8%)を見込んでおります。

不動産事業は、前期に売却した賃貸不動産の影響により100百万円(前期比48.8%)を見込んでおります。

(売上原価)

木材事業については、予想為替レートは前期に比べ1ドルにつき10円円安の117.50円を見込んでおります。

また、原木のFOB価格(積み地の港で本船に積み込むまでの費用)は、為替レートの変動による影響を受けるため、1 m³あたり前期に比べ2.2%安を見込んでおり、船舶燃料は原油価格の高騰を受けて前期に比べ32.6%高を見込んでおります。

製造経費につきましては、生産量の減少による人件費の減少、熱処理設備の導入による外注費の削減効果等を見込んでおります。

ハウス事業については、工事原価を1物件または1工事種類ごとに複数の見積りを入手することで発注単価の引下げを図り、加えて新規の外注業者を開拓するなど原価の圧縮に努め、前期並の水準を見込んでおります。

アミューズメント事業については、前期に閉鎖いたしました店舗の負担がなくなったこと、および改装店舗(3店舗)の建物等の減価償却費および開店一時費用の増加を見込んでおります。

不動産事業については、前期に売却した賃貸用不動産の影響により、減価償却費および固定資産税等の減少を見込んでおります。

この結果、売上総利益は1,697百万円(前期比92.4%)を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費)

管理部門の強化のための人員増に伴い人件費が増加する見込みであるほか、木材事業の販売数量の減少に比例して運送費が減少する見込みであります。

その他の経費につきましては、前期実績ベースを要素別に内容を勘案し、株式上場関連経常費用等を加味して設定しております。

この結果、営業利益は488百万円(前期比79.8%)を見込んでおります。

(営業外収益)

受取配当金、仕入割引、投資有価証券売却益、改装店舗のカラオケボックス売却代等により50百万円(前期比84.1%)を見込んでおります。

(営業外費用)

株式上場関連一時費用および支払利息等により126百万円(前期比111.3%)を見込んでおります。

以上

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願い致します。